



令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人 おもと会	代表者	理事長 石井 和博	法人・事業所の 特徴	1. 職員は笑顔と元気を一番にご利用者様を支援します。 2. ご利用者様の残存能力を維持できるよう支援します。 3. ご家族の支援も大事に考え、実践しています。 4. 看護師配置で健康管理にも努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 すずらん	管理者	宮里 洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	14 人	人	18 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見(2023年度)	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・定例会において常に職員の意見を拾い 事業所自己評価の参考にする。	・職員の意見を聞く。	・職員全体の意見でできている。	・運営(実地)指導の改善命令に沿って取り組 み、実行する。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	・1階玄関のドア規制は法人と調整しな がら早急な開放に向ける。 ・地域に開かれた事業所づくりに努める。	・月毎の飾りを玄関先に飾った。 ・利用者と一緒に折り紙を折り、飾り喜びを 共有している。	・自動ドアの出入り口が自由ではなかった。	・行事や月毎の飾りつけを行い、継続する。
C. 事業所と地域の かかわり	・コロナ規制の緩和に合わせて外部との 交流を広げていく。 ・行動制限の中、地域清掃、各主行事等 へのボランティア参加、地域の方と情報交換する。	・令和5年度は地域清掃へ参加できた。 ・包括主催の、認知症キャラバンメイト養成会 において寸劇に参加した。	・自治会賛助会員へ参加している。	・外部との交流を広げていく。 ・地域清掃、各主行事等へのボランティア参加、 地域の方と情報交換する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・那覇市ちやーがんじゅう課、地域包括 支援センターと連携を取りながら、利用 者や地域の心配な人の見守りを行う。 ・買い物、カフェへの参加ができるよう取り組む。	・認知症カフェ参加協力をした。利用者のみ ならず、家族参加するようになった。	・利用者以外の方の報告記録も記入する とよい。	・運営推進会議で報告、記録に残す。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・外部者参加の運営推進会議の開催 実施、外部の意見を取り入れ課題に 取り組む。	・外部参加の運営推進会議を開催できた。	・他のメンバーの意見の回収に努めて欲し い。	・包括職員・知見者・民生委員が参加できる よう取り組む。
F. 事業所の 防災・災害対策	・運営推進会議委員と当法人の合同防災・災害訓 練が実施できるよう調整する。 ・BCP計画進捗状況の報告をする。	・近隣住民への案内、参加なし。法人職員の みで実施した。	・BPC活動報告は記録する。	・運営推進会議委員と当法人の合同防災・災 害訓練が実施できるよう調整する。 ・BCP計画進捗状況の報告をする。 (継続)